

## 小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 防災機能を備えた公園をいかして災害時に備えよう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

阪神・淡路大震災では建物の倒壊が多く、結果的に公園が重要な避難場所として機能したといわれています。その状況を受け、国は“防災に対応する公園づくり”を推進していく動きがおこり、避難生活の際に公園で炊き出しや給水活動が行われた経験から「かまどベンチ」などが誕生していると聞きます。

かまどベンチとは、人が腰掛ける機能だけでなく、板状の座面の下に災害発生時の炊き出しに使うかまどの機能を兼ね備えたベンチで、阪神大震災や東日本大震災を教訓に、全国に普及しています。自治体の公園だけでなく、民間マンションの敷地や宅地分譲地に設けられる例も増えています。小平市内には 300 か所ほどの公園があり、概ね歩いて 5 分から 10 分以内のところ公園があります。小平市でも防災機能を備えた公園がつくられていて、3 年前の一般質問では都立公園の他に市内 4 つの公園に整備されているとの答弁でした。市内に設置されている防災機能のある公園を改めて周知し、災害時に活用できるよう、以下の質問をします。

1. かまどベンチや災害対応トイレ、防火水槽など、防災機能を備えた公園の整備について伺います。
  - ① 現在、防災機能のある公園の場所と設置機能の内容、管理体制はどのようになっていますか。
  - ② かまどベンチなどが公園にあることはまだあまり知られていません。例えば自治会の防災訓練に使えることをどのように周知しているのか、今後の周知方法もあわせてお聞きします。
  - ③ 開発等による提供公園についても、事業主に対し防災用設備の設置を要望するなど近隣施設の状況をみて設置をしていくとのことでした。このようなことも含め今後の防災機能の公園の整備方針について、伺います。
2. 災害時、身近な公園は避難場所になり、避難生活では交流の場や安らぎの場となります。公園の設備を速やかに活用できるように使い方の提示や必要な備品の設置などが必要と考えますが、見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則題 57 条第 2 項により通告します。

2016 年 (平成 28 年) 11 月 17 日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ

受付番号【                      】 - (     /     2   )

整理番号 (通しNo.) …… (                      )